

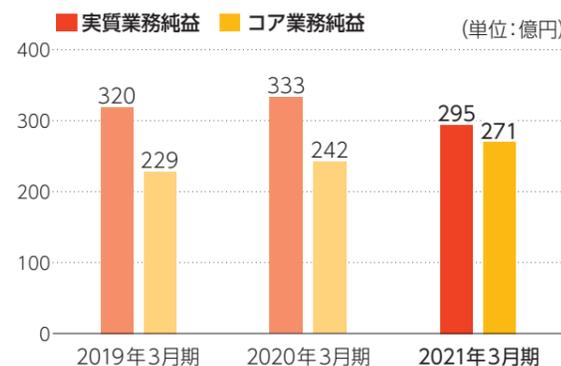
業績ハイライト

■ 主要な経営指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
連結経常収益	1,650	1,539	▲111
連結経常利益	334	321	▲12
親会社株主に帰属する当期純利益	220	223	3

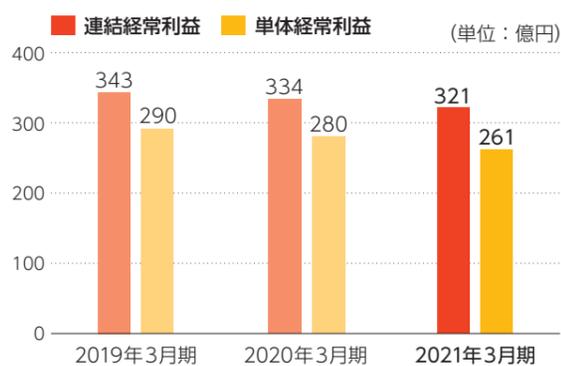
	2020年3月期	2021年3月期	前期比
経常収益	1,244	1,129	▲114
業務純益	323	290	▲33
経常利益	280	261	▲18
当期純利益	195	185	▲10

■ 実質業務純益・コア業務純益



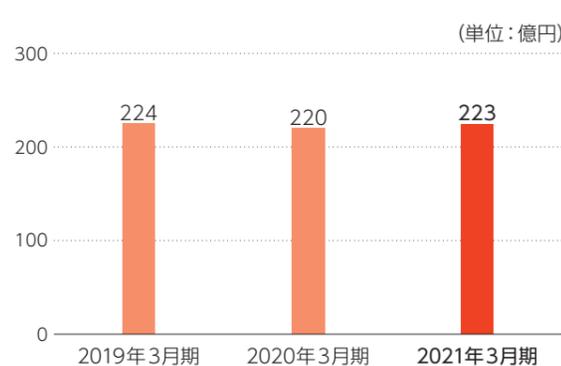
資金利益の増加や経費の減少などによりコア業務純益は271億円(前期比28億円増加)、国債等債券売却益の減少により実質業務純益は295億円(同38億円減少)となりました。

■ 経常利益



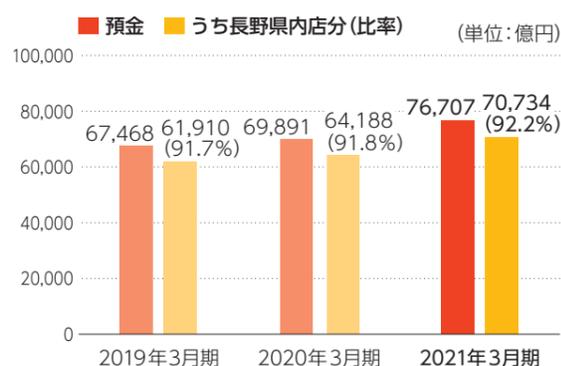
株式売却益などは増加しましたが、実質業務純益の減少や不良債権処理額の増加などにより、単体経常利益は261億円(前期比18億円減少)となりました。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益(連結)



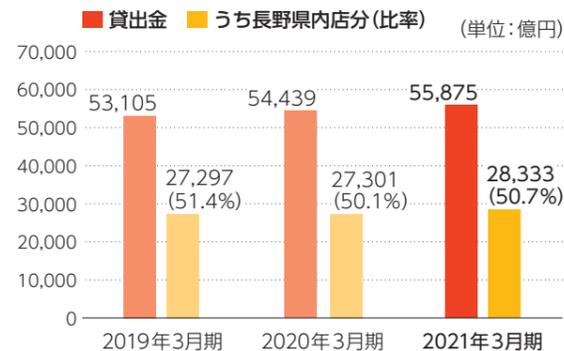
当行単体の当期純利益は減少しましたが証券子会社の増益や、連結子会社への出資比率を高めたことなどにより223億円(前期比3億円増加)となりました。

■ 預金



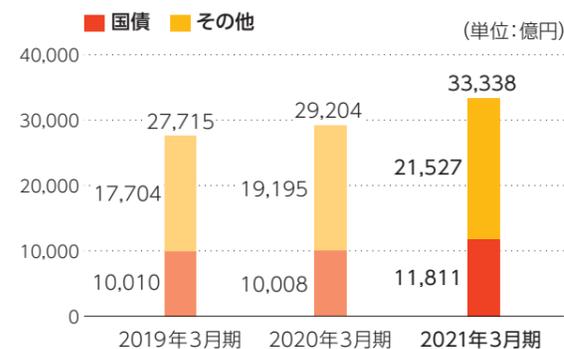
個人預金、法人預金の増加により7兆6,707億円(前期比6,815億円増加)となりました。うち、長野県内店預金は7兆734億円(同6,546億円増加)となりました。

■ 貸出金



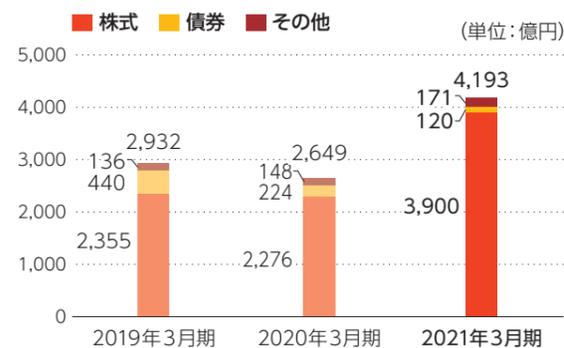
主に県内事業性資金の増加により5兆5,875億円(前期比1,435億円増加)となりました。うち、長野県内店貸出金は2兆8,333億円(同1,031億円増加)となりました。

■ 有価証券残高



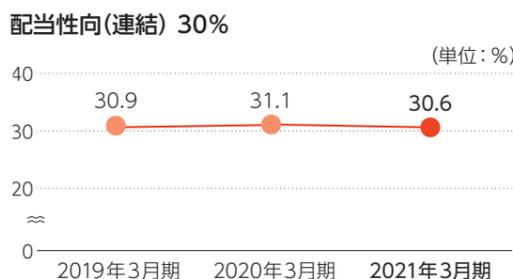
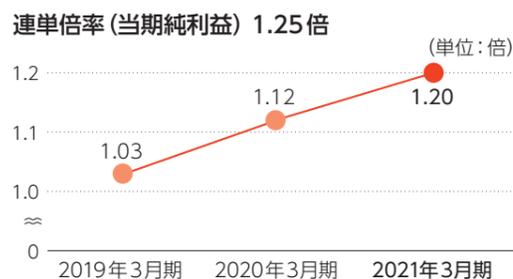
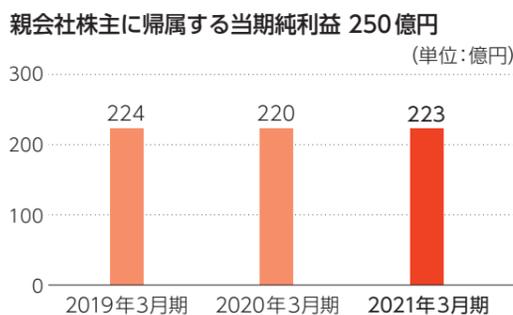
国債や株式などの増加により3兆3,338億円(前期比4,134億円増加)となりました。

■ 有価証券評価損益

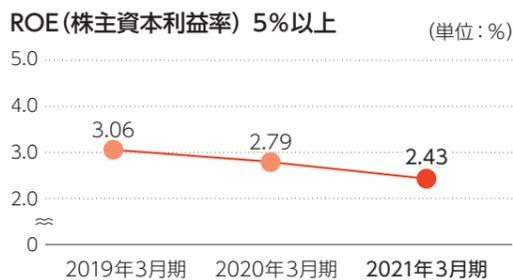


株価の上昇により株式評価益が増加し4,193億円(前期比1,543億円増加)となりました。

■ 目標とする経営指標(2021年3月)



■ 長期的経営指標



連単倍率
親会社の単体決算の利益に対する連結決算の利益の倍率
親会社株主に帰属する当期純利益/当期純利益(単体)

配当性向(連結)
当期純利益(連結)を、配当として株主に還元している比率
年間配当額/1株当たり当期純利益

ROE(株主資本利益率)
企業の収益性を測る指標
当期純利益/自己資本(期首・期末平均)

用語解説
コア業務純益
実質業務純益から債券売却などによる利益を除いた利益

用語解説
実質業務純益
一般企業の営業利益に準じた銀行本来業務の利益